※令和４年度以降入学生用

学校番号	219

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「精選　論理国語」　（三省堂）						
副教材等	大学入試　国語頻出問題１２００［五訂版］（いいずな書店） 常用漢字ダブルクリア　五訂版（尚文出版）及び　別冊徹底トレーニングノート カラー版　新国語便覧 2025（第一学習社）及び　準拠ワーク 速読＋要約＆語彙チェック　１レベル　B（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では、様々な文章に触れ、読解力を向上させるとともに、自分の思いや考えを的確に伝えるための「話す・聞く・書く」ことを学びます。また言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っていきます。課題に対してまずは自ら考え、積極的に取り組んでください。

2　学習の到達目標

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，他者の関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。そして言葉がもつ価値への認識を深め，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	情報の妥当性や信頼性を吟味しながら，自分の立場や論点を明確にして，主張を 支える適切な根拠をそろえること。 立場の異なる読み手を説得するために，批判的に読まれることを想定して，効果 的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	論理国語への誘い ［教材］論理力と思考力	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b：「読」文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：進んで文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりしようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
	「情報社会」を生きるⅠ ［教材］ぬくみ	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b：「読」設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、論述したり討論したりしようとしている。	記述の点検	記述の点検	記述の点検 行動の観察
	環境問題を考える ［教材］世代間倫理としての環境倫理学	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b：「読」文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c：進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、文章の内容や構成を的確に捉え、調べた成果を発表しようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
二学期	言葉をみつめるⅠ ［教材］記号を使う動物	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b：「読」関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 c：進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査	記述の点検

※令和４年度以降入学生用

		にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、関連する文章の書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深め、比較して論じようとしている。			
三学期	生命について考える ［教材］病と科学	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b：「書」情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 c：進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習の見通しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら主張を支える適切な根拠をそろえ、調べたことを整理して論述しようとしている。	記述の点検	記述の点検	記述の点検 行動の観察
	芸術について考える ［教材］ミロのヴィーナス	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b：「書」多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 c：進んで主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、学習の見通しをもって、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直し、考察した内容をまとめようとしている。	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査	記述の点検
	科学技術と人間 ［教材］「なぜ」に答えられない科学	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b「読」文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c：進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述しようとしている。	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査	記述の点検
	「市民社会」について考える ［教材］「市民」のイメージ	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b：「読」文章の種類を踏まえて、	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査	記述の点検

※令和４年度以降入学生用

		資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c ：進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述したり討論したりしようとしている。			

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　25～30　）時間

・読むこと　…　（　40～45　）時間